

Hokuhoku RePort

特集

地域から親しまれ、頼りにされる 金融グループを目指して

トリプルRの実践

Retail 「親しまれる」

Relation 「頼りにされる」

Region 「地域密着」

支店のある町

石川県《金沢市》 / 北海道《斜里町》

駐在員レポート

地の利を活かしたロシア極東ビジネス - ユジノサハリンスク

地域とともに - ほくほくFGのCSR活動

地域の一員としてより豊かな未来づくりのために



「特集」

地域から親しまれ、頼りにされる 金融グループを目指して

トリプルRの実践

Retail Relation Region

【リテール】
親しまれる

【リレーション】
頼りにされる

【リージョン】
地域密着

地域とあなたのために、もっと。

「ほくほく」という名称は、北陸銀行、北海道銀行の頭文字「北」(ほく)を活かしつつ、温かみと親しみやすさを表現しています。

わたしたちは、この名のように地域のみなさまに親しまれ、愛される金融機関として

「地域とあなたのために、もっと。」を合言葉に、地域の特色にあった、お役に立てる金融サービスを提供してまいります。

02 [特集]

地域から親しまれ、頼りにされる 金融グループを目指して トリプルRの実践

03 Retail 親しまれる

05 Relation 頼りにされる

07 Region 地域密着

09 地域とともに (ほくほくFGのCSR活動)

地域の一員としてより豊かな 未来づくりのために

09 地域密着活動
地元のお祭りやイベントへの参加

10 金融経済教育
金融機関としてのノウハウを活かした催しを企画

11 芸術文化振興
創立60周年を記念し、美術展を開催
美しい音楽を身近に

12 環境への取り組み
美しい自然をいつまでも残すために
スポーツ振興
地元チームを盛り上げ、街も元気に

13 支店のある町

13 石川県 **金沢市**
日本の心に出逢うまち金沢
北陸銀行 金沢支店

15 北海道 **斜里町**
世界が認めた、その町の自然
北海道銀行 斜里支店

17 駐在員レポート

YUZHNO-SAKHALINSK 地域経済の国際化を ロシア極東サハリンからサポート

北海道銀行ユジノサハリンスク駐在員事務所

19 CS向上への取り組み

21 PICK UP NEWS

お客さまにいつも寄りそうサービスを

25 中期経営計画

27 業績ハイライト

29 企業概要

30 店舗ネットワーク



取締役社長
高木 繁雄
(北陸銀行 頭取)

取締役副社長
堰八 義博
(北海道銀行 頭取)

平成二十四年七月

皆さまには、日頃より北陸銀行、北海道銀行をはじめ、ほくほくフィナンシャルグループをお引き立て賜り、誠にありがとうございます。

このたび、私どもの活動を「ほくほくレポート2012」としてまとめました。当社グループでは、地域に根ざした金融機関として、「地域から親しまれ、頼りにされる金融グループ」を目指し、お客さまの心に寄り添った金融サービスの提供や、地域経済の活性化に向けた取り組みを行っております。

この冊子を通じて当社グループへのご理解が深まり、身近に感じていただければ幸いです。

今後とも変わらぬご支援とご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

ほくほくレポート 発刊に寄せて

トリプルRの実践 **R**etail 〔リテール〕



「親しまれる」

北陸銀行および北海道銀行では、お客さまに親しまれる銀行を目指し、地域の特色に合った店舗づくりをはじめ、お客さまの多様なニーズにお応えできるよう、幅広いサービスをご用意しています。

北陸銀行では、平成23年11月より、住宅ローンご利用のお客さまを会員とする「ほくぎん夢ホーム倶楽部クラブオフ」のサービスを開始しました。マイホームご購入後に、素敵な家族の時間を過ごしていただけるよう、国内外

**ファンを増やす
商品・サービスの提供**
北海道銀行では、平成24年3月よりキャッシュ・クレジット機能に加え、JRの乗車や全道の電子マネー加盟店でご利用いただける「ICカード「Kitaca」機能」を付加したカードの取り扱いを開始しました。また、創立60周年を記念して登場したキャラクター「タローとハナコ」の通帳やキャッシュカードの取り扱いも開始し、ご好評をいただいております。さらに、「夢がついてくる！」でおなじみの「ジャンボ宝くじ付き定期預金」は、平成15年の取扱開始以来、たくさんのお客さまに親しまれ、看板商品となっています。



▲道銀キャッシュ・クレジットカードKitaca



▲北海道銀行のキャラクター通帳



提携先施設を優待価格でご利用いただける「ほくぎん夢ホーム倶楽部クラブオフ」サービス

平成23年年末ジャンボ宝くじで、1億円以上の高額当選が5年連続6回目となった北海道銀行の宝くじ付き定期預金

6万7千軒のホテル・温泉、遊園地、日帰り湯などを優待価格でご利用いただけるクラブオフの特典がご利用いただけます。このほか、各支店では、年金相談会を開催するなど、幅広いお客さまのニーズにお応えできるよう、魅力的な商品やサービスの拡充に努めています。

北陸銀行ではこれまで、地域の皆さまの「にっこり」とした笑顔の写真をテレビCMにのせてお届けしてきました。平成23年11月からは、地元のアニメーション制作会社ピーエーワークスによる、活き活きとした表情が再現されたイラストを挿入し、より楽しんでいただけるCMとなっています。また、富山空港出発ロビーにおいても、世界遺産の五箇山合掌造り集落を背景に、あしらった大型看板広告を設置し、県外からの観光客やビジネスマンに富山の元氣と魅力をアピールしています。



平小中学校2年生の皆さん

もりのみやこ少年少女合唱団の皆さん

地域の笑顔をお届け



北海道銀行 天塩支店

店舗の新設や新築移転にあたっては、街並みと調和した店舗で、お客さまがよりご来店・ご相談いただきやすい店づくりを目指しています。平成23年11月、北海道銀行天塩支店が新築移転し、店舗の外壁は街並みに合わせたレンガ調にしています。また、店内には落ち着いた雰囲気や資産運用や住宅ローンのご相談が受けられる相談ブースを設置し、併せてATMの平日営業時間を延長しました。



相談ブース



金沢都市美文化賞受賞！
「金沢問屋町支店」
Prize



北陸銀行では、県産の間伐材を使用した卓上ネームプレートを設置。高齢者の方などにも読みやすい書体であるユニバーサルデザインフォントを使用しています。



北陸銀行金沢問屋町支店は、平成22年10月の新築移転の際、瓦屋根や漆喰壁などを使用し、金沢のイメージにマッチした外観の店舗となりました。石川県産杉をフロアリングに、能登産珪藻土を壁面に使用するなど地産地消にこだわり、瓦・体型太陽パネルの使用、LEDによる大型看板の設置などエコロジック対応にも心がけています。また、出入り口のバリアフリー化、ゆとりあるループ駐車場など、来店しやすい店舗となっています。なお、同支店は、都市美の二層の向上に貢献するとともに、平成24年2月、周辺環境に調和した建造物を対象に与えられている「金沢都市美文化賞」を受賞しました。このほか各支店では、地域の方々に作品をお披露目する場として、店舗内のロビー壁面等を提供しています。ロビー展を通じて、地域のみなさまの交流の場としてもお使いいただけるよう、開かれたお店づくりを心がけています。

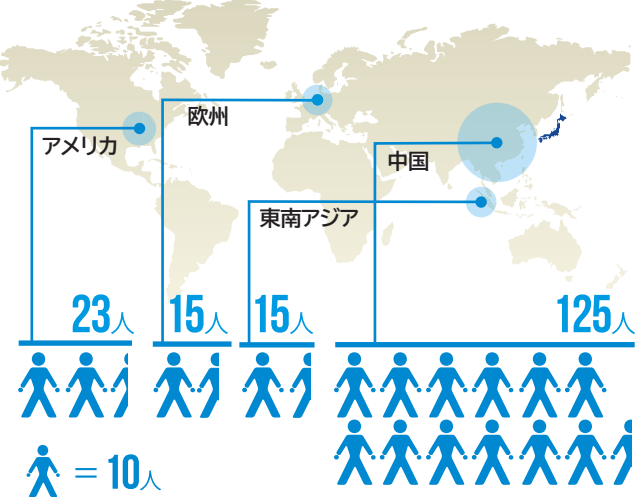
トリプルRの実践 **Relation** ・[リレーション]

「頼りにされる」

ほくほくフィナンシャルグループでは、グローバル化の進展により、ますます活発化する地元企業の海外進出をサポートするため、海外ネットワークの充実を図っています。また、お取引先の幅広いニーズにお応えできるよう、サービスメニューの充実や、人財の育成に取り組んでいます。



海外派遣研修地域別人数(平成23年度・2行合算)



人財育成 グローバルな視点を持ちながら、地域のお客さまをしっかりとサポートできる人財を育てるため、海外トレーニーや、民間企業研修等、世界各地へ幅広く職員を派遣しています。職員自身の成長はもとより、お取引先への情報提供にも一役買っております。

北陸銀行では、業務提携を締結しているバンク・ネガラ・インドネシアの協力のもと、インドネシア投資セミナーを開催し、進出のきっかけとなる情報を提供する取り組みや、大連市の協力のもと、中国のバイヤーを日本に招聘し商談を行う、「大連バイヤーズサミット」を開催し、お取引先の中国での販路拡大を支援する取り組みを行っています。



大連バイヤーズサミットの開催(平成23年12月)大連の食品バイヤー20社と、お取引先41社との個別商談会を開催。事前マッチングによる相談制としたため、開始当初から有益な商談が多く行われました。



海外ビジネス支援セミナー&貿易保険個別相談会の開催(平成23年10月)中小企業のお客さまの海外進出に関する講演や貿易保険の個別相談会を実施しました。

海外駐在員事務所では、お取引先の現地アテンドや、現地法人の定例訪問、現地視察を通じた、生きた情報をタイムリーにお届けすることにより、お取引先の海外進出を海外からサポートしています。バ

シニア、目覚ましい発展を遂げる海外の成長力を、自社の成長力として取り込むため、海外に進出するお取引先を増えています。ほくほくフィナンシャルグループでは、地元企業の皆さまの海外進出をきめ細かくサポートするため、中国および東南アジア地域や、農業分野などでビジネス展開が期待されるロシア極東地域を中心に、支援体制を強化しています。

海外拠点の拡充
アジア、ロシア、欧米にある7つの駐在員事務所に加え、平成24年3月に、シンガポール駐在員事務所、次ぐ東南アジア第2の拠点として、「北陸銀行バンコク駐在員事務所」を開設しました。

ほくほくFGの海外ネットワーク

駐在員事務所

上海、瀋陽、大連、シンガポール、バンコク、ユジノサハリンスク、ロンドン、ニューヨーク

海外行政機関との経済協力協定

中国 大連、瀋陽、上海、遼寧、長春、蘇州、広東、ハルビン、寧波、無錫、昆山、營口、紹興、大連金州新区等
バトナム バトナム政府
ロシア ハバロフスク、サハリン

外銀等との提携

中国・台湾 中国銀行、交通銀行、上海銀行、台湾FISC社
ASEANを
含むアジア スタンダードチャータード銀行、カシコン銀行
バトナム銀行、バンクネガラインドネシア、
インドステイト銀行
ロシア ガスプロム銀行、ズベルバンク
欧米ほか ドイツ銀行、みずほコーポレート銀行、
海外技術者研修協会、東京海上日動火災保険、
日本貿易保険、あいおいニッセイ同和損害保険、
損害保険ジャパン、日本興亜損害保険、
三井住友海上火災保険

シンコク駐在員事務所の開設により、進出希望の高い東南アジアでのサポートエリアが拡大しました。

外部連携の強化
平成24年5月、北海道銀行では、ロシア金融最大のズベルバンク極東支部と協定を締結しました。

すでにVTB銀行、ガスプロム銀行にもドルレス口座を開設し、ロシアルーブルの送金業務を開始しております。が、今後、より円滑な資金決済の提供が可能になるとともに、さらに深度ある情報の提供ができるようになりました。



ロシア金融最大手ズベルバンクとの協定締結(24年5月)



バンコク駐在員事務所の開設(24年3月)

外進出や輸出の支援を目的に、損害保険会社や独立行政法人日本貿易保険(NEXI)と業務提携を締結し、海外ビジネスにおけるリスクマネジメント、貿易保険の取り扱い、ビジネスセミナーの開催など、お取引先の実務面をサポートする取り組みを強化しています。

現地への金融サービス

海外拠点の拡充や、外部との連携を強化した結果、平成23年度には、北陸銀行にて、国内支店からお取引先現地法人に直接資金を貸し付ける「クロスボーダーローン」の実行につながり、サービスの拡大に結びつけることができました。

これにより、お取引先にとつては、現地法人による資金調達手段が広がり、事業の成長に必要な資金を確保しやすくなるといったメリットがあります。



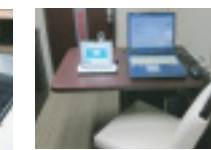
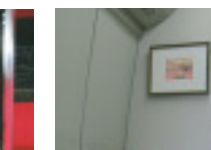
当社グループでは、お取引先の海外進出をワンストップ支援できる体制作りを進め、より「頼りにされる」銀行を目指していきます。

● [リージョン]
トリプルRの実践 **Region**



HOKUGIN Consulting Rescue Car

移動相談車のおもな設備

 <p>ATM 災害時等の緊急用にATMを搭載</p>	 <p>ソーラーパネル ルーフに太陽光パネルを設置し、車内照明等の電力を確保</p>	 <p>相談スペース リアルタイムで取引情報等の照会ができるほか、TV電話で本部担当部署に直接接続し高度な案件相談にも対応</p>	 <p>カセット型発電機 このほか、蓄電池も搭載し、災害時には携帯電話の充電や炊き出し等に利用可能</p>	 <p>応接スペース 待合室を設け、くつろいでいただくためのソファ、テーブル、待合用TV、コーヒーメーカー、マガジンラック等を設置</p>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

地域の教育機関との連携
平成23年度、北陸銀行では、新たに学校法人金沢学院、学校法人金沢工業大学と包括連携協力協定を締結しました。

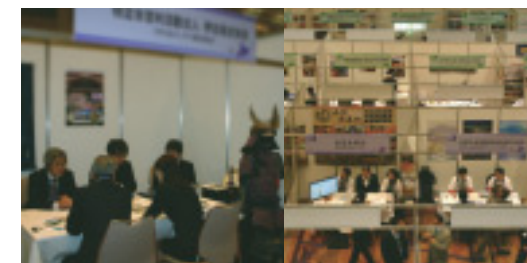
「走る相談室」を導入
平成24年2月北陸銀行では、マイクロバスを改造した移動相談車を導入しました。「走る相談室」として住宅展示場やショッピングセンター、営業店舗の無い地域などに出向き、住宅ローンや年金、資産運用などの各種相談業務を行います。本部職員と直接相談できるTV電話や、お客さまの取引状況をリアルタイムに照会できるシステムを備えているほか、災害時には、搭載されたATMで現金のお支払いや、カセットガス型発電機や蓄電池による非常用電源の供給、物資輸送の手段としても利用されます。

産学連携が活発に行われることは、学術面の振興のみならず、地域経済の活性化に繋がります。北陸銀行では、平成23年度、学校法人金沢学院、学校法人金沢工業大学と包括連携協力協定を締結しました。

も大きく寄与するものと考え、地域の大学などと協力を協定を締結し、地元企業との共同研究や研究成果の紹介、知的財産を活用したビジネスマッチングの推進などの支援をしています。また、包括連携の一環として、北陸銀行では、国際感覚を磨き、グローバルな視点で活躍できる人材育成の一助となるよう、富山大学、金沢大学の学生各10名を中国・大連に研修派遣しました。現地に進出している地元企業の視察や大連理工大との交流会を通じ、現地の学生のエネルギーシユな姿勢を学んでいただきました。

「地域密着」

ほくほくフィナンシャルグループは、「地域と共に生きる」という高い志のもと、地域の皆さまのニーズにお応えし、皆さまと共に歩み、成長・発展することを目指しています。地域の成長業種支援や、企業誘致、産学官連携の取り組み、CSRへの取り組みなどを通じて、地域金融グループとして一層地域に密着した活動を行ってまいります。



「第3回北海道『観光』特別商談会 from 中国」の開催 (平成24年6月)

中国旅行会社29社30名、出展企業53ブース90社、道内旅行会社12社で全540件の個別商談会を実施。出展企業、中国旅行社双方から内容のある商談が実現できたと大変ご好評をいただきました。



「植物工場」をテーマとした植物フォーラムの様子

平成23年6月には、北海道では初の「植物工場」をテーマとしたフォーラムを札幌市内にて開催しました。北海道は、夏場は冷涼で、冬場は晴れ間が多く、地熱・温泉熱を有する地域があるなど「植物工場」に適していると見られ、このフォーラムをきっかけに植物工場に参入した企業の事例もあります。

地域の成長業種支援
当社グループでは、農業、医療、食、観光など地域特性を活かしたビジネスを成長分野と位置づけ、本来の円滑な金融機能の提供はもとより、「知恵」や「情報」の提供を通じ、ビジネスの拡大を後押ししています。当社グループは平成16年の設立以来、他行に先駆けて国内外のビジネスマッチングに積極的に取り組んできました。毎回、特色あるテーマを設定し、満足度の高いビジネスマッチングの提供を目指しています。

北海道銀行では、海外からの旅行客を北海道に呼び込むため、中国から旅行会社を招聘し、北海道の企業と個別商談やファームトリップ（現地視察ツアー）、商談後の中国旅行会社へのフォローを一貫して実施する商談会を継続して開催しています。北海道の主要な産業である「農業」をテーマとした取り組みでは、北海道銀行アグリビジネス推進室が中心となり、「農業生産法人が企業へと発展すること」を目的として、農業経営者や後継者を対象に、農業経営塾を開

● 農業経営アドバイザー資格取得者

46名 平成24年3月末現在

北海道銀行 ▶ 24名
北陸銀行 ▶ 22名

国内金融機関で最多

(株)日本政策金融公庫農林水産事業が認定するアドバイザー制度。農業経営の発展を支援するためのアドバイスに必要な、各種分野における知識、ノウハウを有するものを育成し、農業経営の担い手の育成に寄与することを目的に平成17年2月に創設された。

金融経済教育

金融機関としての ノウハウを活かした催しを企画

学生を対象とした職場体験学習やインターンシップ、地元大学における金融講座への講師派遣、次代の経営を担うマネジメント層向けの講座を開催するなど、地域の皆さまを対象に、子どもから経営者層まで、幅広く金融知識の普及に向けた取り組みを行っています。

同様の取り組みを今年度も継続実施いたします



北海道銀行では、次世代育成教育支援の一環として、北海道教育委員会と「北海道家庭教育サポート企業等制度」の協定を締結しており、平成23年7月には全道の公立小学校5年生に日本地図を配布し、北海道教育委員会から感謝状を頂きました。

どうぎん親子で銀行体験の開催(夏休み・冬休み)



普段「銀行」に接することのない子ども達はもちろん、保護者の皆さんにも「銀行体験」をしていただき、より身近な金融教育を行っています。

職場見学やインターンシップの受け入れ



地域の小学校・中学校からの職場見学や、高校生・大学生のインターンシップの受け入れに協力しています。



目指せ!ニューヨーク研修旅行 エコノミクス甲子園の開催



全国大会、その先のニューヨーク研修旅行への切符をかけ、札幌、富山、福井で地区大会を開催しました。



キッズタウンの開催



会場全体を「仮想のまち」に見立て、小学生がさまざまな職業を疑似体験できる『こどものまちミニさっぽろ』では、「ミニほっかいどう銀行」「ミニほっかいどう銀行研修所」「ミニ税務署」の運営を行いました。

大学生や経営者向けの講座を開催



MBAなど専門資格を取得している役職員が講師となり、大学生向けの寄付講座や中小・中堅企業の若手経営者を対象に経営者養成講座を開催しています。



ほくほくFGのCSR 地域とともに

地域の一員として より豊かな未来づくりのために

ほくほくフィナンシャルグループでは、地域経済、地域社会の継続的な発展を目指すため、CSR(企業の社会的責任)を推進し、地域の皆さまや株主の皆さま、社会からのご期待に応えてまいります。

地域密着活動

地元のお祭りやイベントへの参加

ほくほくフィナンシャルグループでは、札幌市の老舗チームとの合同チーム「北海あほんだら会&ほくほくFG」として、札幌市で開催される「YOSAKOIソーラン祭り」に参加しています。平成24年は、総勢111名が初夏の北海道のさわやかな風のもと演舞しました。

このほか、富山まつり(富山市)や百万石まつり(金沢市)、さっぽろライラックまつり(札幌市)をはじめ、各地のイベントに参加し、地域の皆さまとの交流を深めています。



芦原温泉夏祭り



YOSAKOI ソーラン祭り



百万石まつり

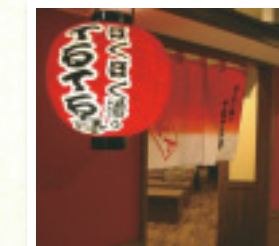


ライラックまつり

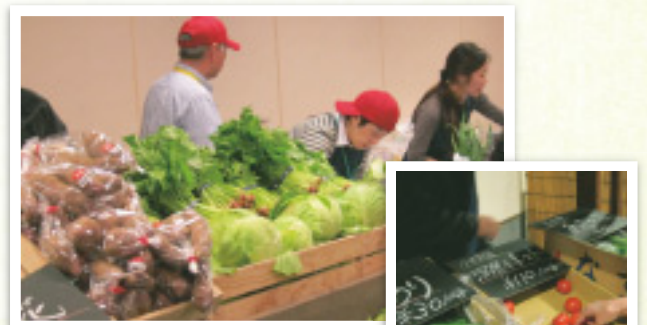
賑わいづくりで街に元気を

平成22年2月、富山市にオープンした「てるてる亭ほくほく通り」は、江戸の町並みをイメージした通りにミニシアターや越中からくり処など、さまざまなお楽しみが設けられ、地元商店街の賑わいづくりに一役買っています。

県産の規格外野菜等を販売する「野菜アウトレット富山」や、富山市内のフレンチ、和食料理店主による「シェフの惣菜コーナー」などのイベントも大好評となっています。



てるてる亭



野菜アウトレット富山



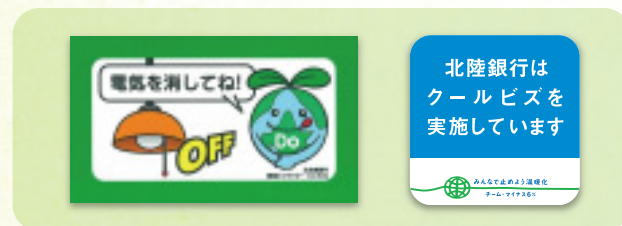


環境への取り組み

美しい自然をいつまでも残すために

環境に配慮した企業活動への融資など、金融機関としての本業を通じた取り組みのほか、各地での清掃活動や植樹活動にも積極的に参加しています。

また、一人ひとりができることから着手し、職場における日々の省エネやエコ活動を継続して行っています。



クリーンアップ作戦
住みよい街づくりに
貢献するため、清掃
活動を行っています。



「北海道植樹祭inおびひろ」に参加
帯広の森で開催された植樹祭に参加し、1600人のボランティアの方々と共に苗木を植えました。



「道銀の森」第3回植樹を実施
「道銀の森」は平成21年に創設し、毎年2千本ずつ、5年間で1万本の植樹を行っています。



スポーツ振興

地元チームを盛り上げ、街も元気に

地元スポーツチームへのスポンサーやオフィシャルパートナーとして、スポーツ振興を通じた活気あふれる地域作りを応援しています。

北海道銀行では、小笠原歩、船山弓枝、吉田知那美、小野寺佳歩、苫米地美智子の5選手による女子カーリングチーム「北海道銀行フォルティウス」のメインスポンサーをはじめ、「北海道日本ハムファイターズ」やフットサルの「エスポラーダ北海道」を応援しています。

北陸銀行では、地元JFL2チームが母体となり誕生した富山初のプロサッカークラブでJ2所属の「カタレ富山」をサポートしています。



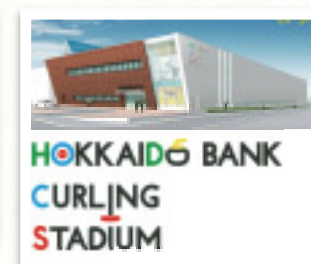
©KATALLER TOYAMA



女子カーリングチーム「北海道銀行フォルティウス」が本格始動
平成23年度の冬、日本カーリング選手権に北海道代表として出場し、ベスト4進出を果たしました。



北海道日本ハムファイターズ公式戦
～北海道銀行スペシャルデー～を開催



平成24年9月、札幌市に開館する市営カーリング場の命名権を取得し、愛称を「どうぎんカーリングスタジアム」と命名しました。



エスポラーダ北海道「北海道銀行MATCH DAY」を開催
当日は、横浜FC(J2)の三浦知良選手が参戦し、Fリーグ史上最高の入場者を動員しました。

芸術文化振興

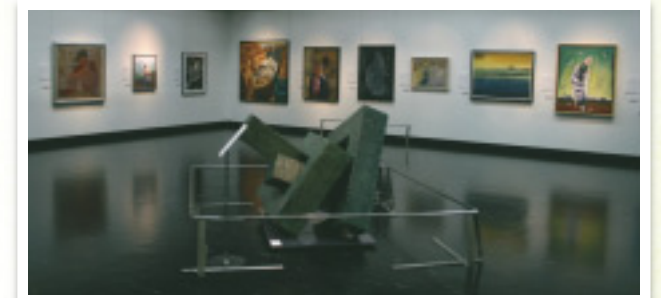
北海道銀行コレクション

創立60周年を記念し、美術展を開催

平成24年2月3日から2月26日の間、北海道近代美術館において創立60周年記念「北海道銀行コレクション」を開催し、同時に同美術館内において道銀文化財団創立20周年を記念した祝奏コンサートを開催しました。

北海道銀行が所蔵する絵画、彫刻、歴代カレンダーなどを広く道民の皆さまにご紹介し、7,000名を超えるお客さまにご来場いただきました。

また、期間中は東日本大震災のチャリティー募金を行い、日本赤十字社を通じて義援金を寄贈しました。



祝奏コンサート

美しい音楽を身近に

北海道銀行では、気軽に美しい音楽にふれてもらいたい、北海道の文化を身近に感じてもらいたいという思いから、平成2年より「道銀ライラックコンサート」を開催し、今年で26回目を迎えました。今回はピアノに第21回道銀芸術文化奨励賞を受賞した岡本孝慈さんを迎え、札幌交響楽団とのクラシックの競演をお楽しみいただきました。

北陸銀行では、金沢市に本拠を置くオーケストラ・アンサンブル・金沢による「イワキ・メモリアル・コンサート」の開催や、毎年春に開催される「ラ・フォル・ジュルネ金沢」などの文化活動を支援しています。



ライラックコンサート



イワキ・メモリアルコンサート

街なかに賑わいを生む「ミニ美術館」としてアートギャラリーを設置

北陸銀行では、店舗の外壁に美術作品の展示スペースを設けた「ほくぎんアートギャラリー」を設置し、地元作家や地域の大学で美術や工芸を学ぶ学生に作品発表の場を提供しています。いずれも環境にやさしいLED照明を採用するとともに、作品が引き立つようデザインにも工夫を凝らし、「街の中のミニ美術館」として、地域の方々から親しまれています。



金沢問屋町支店



本店営業部

アートギャラリー

支店のある町

金沢市(石川県)

日本の心に 出逢うまち金沢

江戸時代、加賀百万石の城下町として栄えた金沢は、江戸、大阪、京都に並ぶほどの大都市でした。代々の加賀藩主は、江戸、京都から名工や学者たちを招き、工芸や芸能などの文化事業を奨励したことから、金沢には日本が世界に誇る歴史や文化が数多く受け継がれています。



夜の艶やかな風情も魅力的
ひがし茶屋街



日本三名園
兼六園

「利家とまつ」のお膝元 加賀藩・前田家

藩祖前田利家が金沢に入城した天正11年(1583年)から、廃藩置県に至るまで加賀藩前田家十四代の城下町として発展しました。三代藩主利常の奥方に二代將軍徳川秀忠の娘、珠姫を迎えたのをはじめ、代々の藩主は徳川將軍家との結びつきを深め、百万石の大藩を守ってきました。

いまも残る城下町 歴史のまち

前田利家の入城以来、戦災や大きな震災に遭うこともなく、城下町の風情をいまに残し、ゆったりとした時の流れを感じさせる金沢のまちなみ。藩政時代の金沢は、城を中心に犀川と浅野川のふたつの川にまたがる形でまちが形成されました。

土塀と石畳が続き、江戸時代の風情を感じさせる「長町武家屋敷跡」は、加賀藩の中級武士が住んでいた界限で、土塀や長屋門が



長町武家屋敷跡



金沢城公園

続く細い通りや、鞍月用水、大野庄用水の流れが往時を偲ばせます。

いまも受け継がれる技 伝統工芸

茶の湯どころとして知られ、数多くの伝統工芸が受け継がれている金沢。三代藩主利常は茶人を文化顧問として招き、茶の湯の指導や茶道具の制作を通して美術工芸の育成に力を注ぎました。利常によって加賀藩の茶道文化は世に広まり、前田家の手厚い保護の下で工芸の技が育まれ、受け継がれてきました。



金沢能楽美術館



＜金沢21世紀美術館

天から謡が降ってくる 伝統芸能

古くから武家や商家だけではなく植木職人までが能楽をたしなみ、城下町を歩くとどこからともなく小謡を口ずさむ声が聞こえてきたそうです。加賀宝生や狂言、邦楽や舞踊に代表される金沢の伝統芸能は、今も多くの人に愛され、金沢の地で生き続けています。

古くて新しい 新旧が 交差するまち

城下町の面影が残るまちに、明るく生まれ変わった金沢駅周辺や、国の内外から注目を集める「金沢21世紀美術館」など新しい顔もどんどん誕生しています。古き良き日本情緒と新しい感性がミックスされ、新たな金沢の魅力が発信中です。

金沢市と北陸銀行

北陸銀行は、加賀前田家から資本金の7割の出資を受け、明治10年8月26日に設立された金沢第十二国立銀行を起点としており、金沢は創業の地であります。金沢町下堤町51番邸に本店を設け、営業開始し、明治25年6月に現在の金沢支店の場所へ移転しました。昭和18年7月31日、十二銀行、高岡銀行、中越銀行、富山銀行の4行合併により北陸銀行南町支店となりました。昭和43年4月に店舗を新築し、店名を金沢支店と改称しました。金沢支店1階に



金沢支店：明治10年8月26日開設(北陸銀行創業日)



金沢クラフト・ツーリズム

平成21年6月、金沢はユネスコが創設した「創造都市ネットワーク」にクラフト分野で登録され、伝統的な技術と新しい発想を駆使した「ものづくり」に、一層力を入れて取り組んでいます。気軽に伝統工芸の作品作りを体験したり、歴史ある茶室でお茶やお菓子を味わうなど、金沢ならではの伝統工芸や文化に触れることでひと味違う旅のスタイルを楽しむことができます。



● 金箔貼り体験



協力/金沢市観光交流課

支店のある町

斜里郡斜里町(北海道)

世界が認めた、その町の自然

いまもなお雄大な自然が、原始の姿で残されているこの町は、四季それぞれに美しい表情をみせます。儂げで力強い「ここにしかない大自然」の姿を目の当たりにしたとき、訪れたものは皆、言葉を失ってしまいます。

世界自然遺産の「知床」を有する斜里町

世界自然遺産、知床

平成17年7月17日に屋久島・白神山地に続き3件目となる世界自然遺産に登録された知床は、今も観光地として人気を博しています。

知床には、原生的な植物、絶滅危惧種に制定されている動物が数多く生息しています。これは冬のオホーツク海に流氷が運んでくる植物プランクトンが資源となる食物連鎖によるもので、この海と陸との複合的な生態系は世界でも類をみません。

「守られる自然」と「育まれる自然」、ここでしか見ることのできない豊かで美しい景観は見るものを魅了します。

知床五湖

原生林に囲まれた5つの秘湖・知床五湖は、アイヌ民族では古くから「神様が5本の指を突いてできた湖」という言い伝えがあります。五湖はすべて地下水が湧き出てできているた



め、流れ込む川がなくても湖水が枯れることはありません。静寂な中にもそれぞれ違う情景を感じることができ、晴れた日には湖面に知床連山が美しく映し出されます。

オシニコシンの滝

「日本の滝百選」にも選ばれ、「知床八景」の一つでもある「オシニコシンの滝」は、アイヌ語で「川下にエゾマツが群生するところ」を意味する「オ・シユンク・ウシ」から転じたと言われています。

80mの岩盤から2つに分かれて流れ落ちる滝は、周りの草木とともに四季折々に美しい変化を成します。

ねぶたが繋ぐ2000年の歴史

斜里の短い夏の夜の、古き良き笛の音と「ヤードー」のかけ声を先導に「しれとこ斜里ねぶた」が姿を現します。

今から2000年余り前の文化4年(1807年)夏、江戸幕府に命ぜられた斜里地方の警備について100名余りの津軽藩士のうち、越冬中の厳しい寒さと栄養不足により72名が死に至りました。

その史実に基づき昭和48年(1973年)に津軽藩士殉難慰霊碑を建設し、毎年町民の手で慰霊祭を行なうことが縁で、昭和58年(1983年)青森県弘前市と「友好都市盟約」を結びました。

以降、「弘前ねぶた」が斜里町に伝授され、今もなお、殉職した津軽藩士が繋いだこの祭りは「北海道三大あんどん祭り」として北海道の夏に妖艶な光を放っています。



しれとこ斜里ねぶた

協力/知床斜里町観光協会



斜里町と北海道銀行

アイヌ語で「アシの生えているところ」を意味する「シャリ」町は、北部はオホーツク海に面し、南部は山岳を有する資源豊かな環境地域で、農業・漁業・観光業を主産業とする町です。

現在の斜里に人が住み始めたのはおよそ3万年前になります。その後、大陸方面から南下してきた海洋民族の文化は、オホーツク文化と称され、斜里町にも多くの遺跡を残しています。

北海道銀行斜里支店は昭和26年に開設され、現在も同一敷地内にて営業を続けています。



斜里支店: 昭和26年開設



地域経済の国際化を ロシア極東サハリンからサポート。



ユジノサハリンスク駐在員事務所
(北海道銀行)

駐在員レポート

inYUZHNO-SAKHALINSK

Russian Federation

平成21年3月24日にオープンした北海道銀行ユジノサハリンスク事務所は、今年で丸3年を迎えました。ロシア極東地方における唯一の邦銀出先機関として、現地の情報収集、現地に進出する企業へのサポート（ビジネスマッチング）、

銀行取引や決済・送金のアドバイスを主たる業務としてまいりました。これまで築き上げてきたネットワークや注目度をさらに強化し、サハリン・ロシア極東地方におけるお客さまの事業活動をサポートする最前線の役割を果たしています。

地の利を活かしたロシア極東ビジネス

レポート：北海道銀行ユジノサハリンスク駐在員事務所 所長 三上 訓人

自然・人・歴史・経済…… 魅力あふれるサハリン

サハリンとつぶやいてみる。緑色に輝く樹木と、透き通った川面に、青々とした海……。北海道の北、宗谷岬からわずか50kmに位置するかつて樺太と呼ばれていた土地で、面積はほぼ北海道と同じですが、人口は北海道の約10分の1にあたる55万人ほどです。

社会インフラは、近年早いスピードで整備が進んでいます。「サハリンプロジェクト」と呼ばれる石油ガス開発により、エネルギー関連事業の隆盛から富裕層が拡大してきており、消費意欲も非常に旺盛です。ユジノサハリンスク市郊外には、高価な一軒家が立ち並ぶ高級住宅街もあります。

北海道とは歴史的繋がりが深く、地理も近く、気候も似ていることから、以前から経済・観光・文化などの交流が活発です。北海道企業がもつ寒冷地技術分野に限らず、農業や水産加工分野におけるビジネス展開が大いに期待されています。



APEC開催に向け横断橋が作られた金角湾
(ウラジオストク)



昨年3月の震災直後、ロシアより千羽鶴に心を込めて日本へ。
ガガーリン公園



サハリン州立郷土博物館。
日本時代(樺太)からの象徴的な建物。

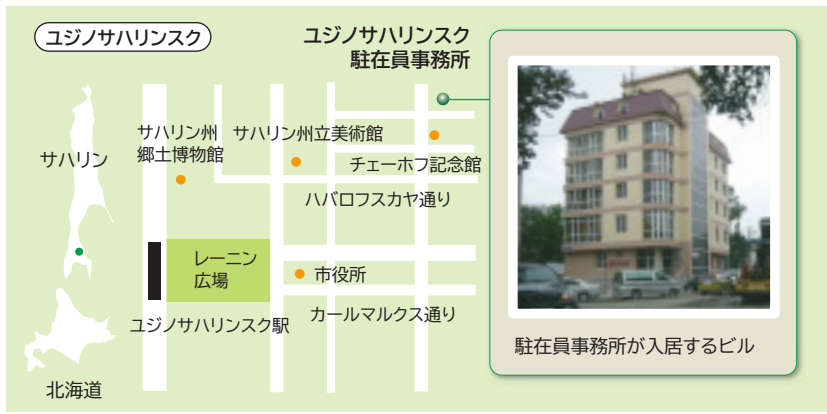


ユジノサハリンスク駅前のレーニン広場に立つレーニン像

日本とロシアを結ぶ「架け橋」として

北海道銀行◎ユジノサハリンスク駐在員事務所(ロシア)

THE HOKKAIDO BANK,LTD
DIPLOMAT OFFICE 404 CHEKHOVA STREET 1A
YUZHNO-SAKHALINSK 693020,RUSSIA
TEL : 7-4242-46-1774 FAX : 7-4242-46-1775
日本との時差：2時間



駐在員事務所が入居するビル

今後も注目が集まるロシア極東ビジネス

平成24年9月にアジア太平洋経済協力会議(APEC)がウラジオストクで開催されます。APEC後も連邦政府はロシア極東の経済発展を進める方針であり、日本は有力なパートナー候補です。低価格とスピードが売りの中国・韓国という強力なライバルはいますが、高い技術力と信用力に裏打ちされた日本の製品・技術・ビジネスモデル・サービスに対する需要は非常に大きなものです。

当事務所は日本人職員2名、現地職員2名と少人数ですが、サハリンのみならずロシア極東地方も活動範囲としています。地元政府、金融機関、有力企業などと強い絆を有しており、これを最大限に生かした活動によって日本とロシアを結ぶ「架け橋」としての役割を果たしてまいります。



ユジノサハリンスク駐在員事務所メンバー

● 「振り込め詐欺」防止への取り組み

お客さまの大切なご預金をお守りするため、振り込め詐欺防止チェックシートの制定のほか、地域の警察署と連携した振り込め詐欺撲滅キャンペーンや防止訓練を実施しています。

今後も、本支店一体となり、振り込め詐欺の未然防止に努めていきます。



北海道銀行旭川支店 押川佳耶子

ATM(現金自動預払機)ではなく窓口にお越しいただくと、振込内容の不審な点にも気づきやすいです。手続きで心配なことがあれば、ぜひご相談ください。

● ミステリーショッパーによる店舗調査

北海道銀行では、外部評価機関のミステリーショッパー(覆面調査員)による店舗モニタリング調査を継続実施しています。

この調査では、職員の接客・マナーや身だしなみ・店舗設備・ロビー状況についてお客さまの目線でチェックを行っています。

また、店舗への調査はあくまでも「ミステリー(覆面)」で行われるため、実態に基づいてチェックしています。

外部の調査機関を活用した客観的な視点も取り入れ、お客さまにご満足いただけるサービスの向上に取り組んでいます。



● 認知症サポーターの養成



認知症の方やその家族の方への理解を深め、認知症の高齢者が地域で安心して暮らせる環境づくりに貢献するため、「認知症サポーター養成講座」を開催しています。

「認知症サポーター」とは、認知症について正しく理解し、認知症の方や

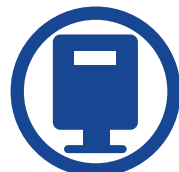
その家族の方を温かく見守る応援者として地域社会において活動する人のことで、所定の「養成講座」を受講することにより認定されます。地域の高齢者や認知症の方々への理解を深め「高齢者にもやさしい窓口」づくりを実践していきます。

認知症サポーターとしての証しの「オレンジリング」

○ ご意見はこちらへ

— お客さまの声受付体制 —

【ご意見ポスト】



店頭にて備えており、ご意見やご要望をお寄せいただいております。

【お客さまアンケート】



より一層ご満足いただけるサービスを提供できるようアンケートを実施しております。

【インターネット】



●北陸銀行
<http://www.hokugin.co.jp/>
●北海道銀行
<http://www.hokkaidobank.co.jp/>

【お電話】



北陸銀行お客さま相談室
0120-794-322
北海道銀行お客様相談室
0120-910-444

● CSマイスター制度の制定

さらなるお客さま満足度向上を目指して、北陸銀行では「CSマイスター」制度を新設しました。CSマイスターは、これまで「顧客満足度の高い店づくり」に貢献している行員の中から選出しています。

お客さまへの気配り・心配りを大切にされた接客を実践し、サービス向上やより一層のCS向上を目指すため、意見交換や検討・提言を行ってまいります。



北陸銀行新庄支店 矢田衣子

当行を選んでいただいたお客さまに感謝し、来店されるお客さまに満足していただける店づくりを目指しています。研修会講師など、CSマイスターの活動を通じ、全店のお客さま満足度向上に繋がるよう努力していきます。

● CS向上研修

北陸銀行では、ホテルなどでの異業種派遣研修の実施や、地域の老舗料亭の女将やコンサルタントを招いて、「おもてなしの心」や「コミュニケーションスキル」を学ぶ研修を実施しています。

異業種現場での顧客対応や、おもてなしのスペシャリストから直に接客の心得を学ぶことで、店頭でのCS向上に努めています。

北海道銀行と北陸銀行は苫小牧地区において、「女性職員向けメイク&マナー講習会」を共同開催しました。化粧品会社の美容スタッフを講師に迎え、社会人として好印象のメークアップ術や自然な笑顔の作り方を学び、店頭でのCS向上に取り組んでいます。

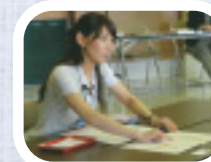


● ロールプレイング大会

お客さまをお待たせしない窓口に加え、店頭での説明力向上を目的に、窓口担当者のロールプレイング大会を実施しています。

参加者からは、「正確・迅速・丁寧な窓口対応に加え、お客さまとのコミュニケー

ションの重要性や難しさを改めて実感した。」「お客さまとの会話を大切に、ニーズを的確に把握できるよう対応技術の向上に取り組みたい。」との意見が多く寄せられました。



お客さまの笑顔のために

CS向上への取り組み

Customer Satisfaction

顧客満足度

お客さまへのサービス向上を追求し、さまざまな取り組みを行っています。

Hokuhoku FG PICK UP NEWS



ほくほくFG ピックアップニュース 2011.7 — 2012.6

お客さまに いつも寄りそうサービスを。

お客さまの身近に広がるネットワークの充実や、
付加価値の高いサービスの情報などを
ピックアップしてご紹介します。



みちのく丸寄港記念イベントの開催

■北陸銀行
北海道銀行 2011・7～8

北前船交易は、かつて北海道開拓に寄与し、北陸経済においても地域経済を支える産業の礎となりました。平成23年夏、青森、岩手、北海道の船大工の手によって復元された北前船「みちのく丸（青森・みちのく北方漁船博物館財団所有）」が、かつて物流と文化交流の中心をなした日本海を航海し、ゆかりの10道県の寄港地を巡りました。

小樽港では北海道銀行が、伏木富山港では北陸銀行が寄港記念イベントに特別協賛し、各港では、船内見学、船外展示などを通して北前船文化を伝えるとともに、東北復興支援の一環として物産品の販売等が行われ、多くの来場者で賑わいました。



日医工医業経営研究所と連携・協力協定を締結

■北陸銀行 2011・9

6月に新設した産業調査部が、日医工医業経営研究所と医療行政や病院経営に関する情報交換を目的に、9月5日、包括的な連携・協力協定を締結しました。

提携後は、それぞれの専門分野である金融・税制や医療行政・経営などについて情報交換会を開催しているほか、今年4月には、確定拠出年金や将来の医療制度に関する共同レポートを発行し、医療機関などに配布しました。今後も金融と医療制度の



情報、ノウハウの共有を進め、顧客サービスの向上を図っていきます。

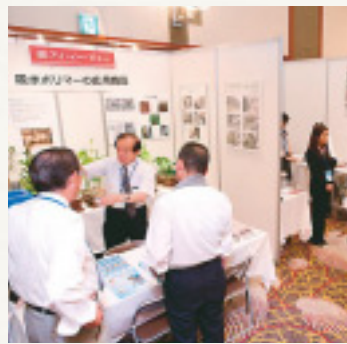
「東海北陸モノづくりビジネスサミット2011」開催

■北陸銀行 2011・8

8月4日、大垣共立銀行と共催で、製造業に特化した本商談会を開催しました。

伝統的な匠の技術や最先端技術を駆使したオンリー・ワン製品を開発する東海・北陸地域の71社の企業がブースを構え、バイヤーとなる国内大手・中堅メーカーとの受発注のマッチングや、新たなビジネスの機会を探りました。

今回は、富山大学工学部と金沢大学理工学域の協力を得て、主催者側が事前に地元メーカーの技術を評価し、発注者側に橋渡しするなど、マッチ



ング率が高まるよう工夫しました。会場には約1500人が訪れ、事前にセッとした500件を含む約1000件の活発な商談が行われました。

紹興市人民政府と経済交流協定の覚書を締結

■北陸銀行 2011・8

現地で投資活動を行うお取引先や日本で事業展開をする紹興市の企業を相互支援する目的で、中国浙江省紹興市商務局と経済交流促進の覚書を締結しました。

紹興市は、日中国交正常化に尽力した周恩来元首相ゆかりの地で、周氏と親交が深かった政治家松村謙三氏の出身地である富山県南砺市の友好都市でもあります。



サークルKサンクス提携バンクタイムATM取扱開始&コンビニATM24時間稼働開始

■北海道銀行 2011・10

サークルKサンクスと提携し、道内サンクス店舗内に設置されているコンビニATM「バンクタイムATM」のサービスを開始しました。これにより、すでに提携しているイーネットATM（セイコーマート等に設置）、ローソンATM、セブン銀行ATMと併せ、全ての道内主要コンビニATMと提携しました。

また、これに合わせて、ご利用時間の延長および正月稼働を開始し、メンテナンス時間等を除き、全ての

提携コンビニATMにおいて当行カードが24時間365日ご利用いただけるようになりました。



上海銀行と業務協力協定を締結

■北陸銀行 2011・11

11月16日、中国・上海市を地盤とする上海銀行と業務協力協定を締結しました。

上海銀行は、上海を中心に250カ所の拠点を持つ地方銀行であり、中国進出のお取引先のうち約200社が上海市周辺に集中していることから、よりきめ細かい情報提供や金融サービスの提供が可能となります。北陸銀行の中国での業務協力協定先は、中国銀行、スタンダード・チャータード銀行、交通銀行に続き、上海銀行で4行目となります。



トヨタ生協「北海道物産」商談会開催

■北海道銀行 2011・11

11月17、18日の2日間、道内自治体や商工会議所の推薦を受けた34社にご参加いただき、中京圏向けの商談会を開催しました。

トヨタ生協(会員数25万人)では、13年前から毎年北海道物産展を開催しており、今回は、この物産展に出展・出品を希望するお取引先の商談会を開催しました。物産展への新規出店が8先、ギフト採用は3先となり、生協側の予定数を大幅に上回り盛況となりました。



平成24年2月に開催された物産展においては、物産販売だけでなく、北海道観光の魅力を知っていただく機会となりました。

「道銀・農業経営塾」の開催

■北海道銀行 2011・12

道内を代表する農業生産法人の経営者や後継者13社14名を対象に、農閑期の12月～2月にかけて「道銀・農業経営塾」を実施しました。

「農業生産法人が企業へと発展すること」を目的として、「経営理念」「財務」「税務」「労務」等の企業管理や「販路拡大」「6次化」「今後の農政」等をテーマに、さまざまな分野の専門家講師を招聘し、情報を提供しました。民間金融機関による同様の取り組みは全国でもほとんど事例がなく、参加者からも大変好評を得ることができました。

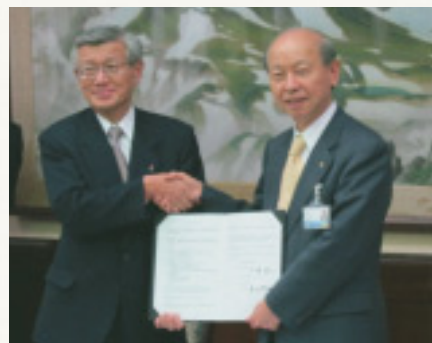


富山県と災害時等の応援に関する協定を締結

■北陸銀行 2012・2

2月1日、北陸銀行は、地震などの災害発生時に支援物資の提供や職員を災害ボランティアとして派遣するなどの「災害時等の応援に関する協定」を富山県と締結しました。

協定には、銀行の店舗を帰宅困難者に一時避難所として利用いただき、水やトイレを提供することや、緊急融資制度などを盛り込みました。調印後に、支援物資の搬送など災害時の活用を想定し設計された移動相談車をお披露目しました。



輸入関税等の自動引落サービスの24時間対応開始

■北陸銀行 2012・3

3月から、輸入にかかる関税や消費税の自動引き落としサービスを24時間対応としました。

平成22年に北陸の地方銀行として初めて導入したこのサービスは、契約先が順調に増え千社程度となったことから、24時間対応とし、お取引先の利便性を高めました。これにより、土日・祝日も税金納付が可能になったほか、貨物の引き取りまでの日数が短縮でき、深夜の引き取りも可能となりました。



産業振興に関する連携協定を締結

■北海道銀行 2012・5

5月28日に江別市と、また31日には函館市との間で連携協力協定を締結しました。

大学や研究機関との連携、企業誘致の推進、人材育成などの産業振興に資する事業等の実施について、積極的な連携・協力をを行うことにより、地域経済の活性化に寄与することを目的としています。また、両市は「北海道フード・コンプレックス国際戦略総合特区(フード特区)」の認定を受けていることから、特区への



取り組みについても積極的な連携を図ってまいります。

事業所内託児所「ツキツキ Kids' Room」のオープン

■北海道銀行 2012・4

4月2日より、道銀本店(別館ビル)内で、事業所内託児所「ツキツキ Kids' Room」の運営を開始しました。

北海道銀行では、女性職員が安心して子供を預け働くことができる「仕事と子育ての両立支援」に積極的に取り組んでおり、3月12日に開所に先立って行われた内覧会において、

上田文雄札幌市長から表彰状を授与されました。

また、施設設置にあたっては「厚生労働省事業所内託児保育施設設置・運営等助成金」および「札幌市事業所内保育施設設置推進事業」の計画認定を受けています。



I. 営業力の強化 “トリプルR”の実践により、「地域から親しまれ、頼りにされる金融グループ」を目指す

Retail ~親しまれる~

取引先数拡大と取引多面化・メイン化推進
顧客セグメント別マーケティング
スモールビジネス取引拡大(マル保など)
住宅ローン推進
給振・年金振込先の増強

Region ~地域密着~

顧客利便性を考慮した店舗機能の提供
店舗の戦略的再配置(形態変更・移転)
ビジネスセンター、相談専用ラウンジ、
企業誘致、産学官連携、CSR、
地域の成長業種支援(農業、医療、環境)

Relation ~頼りにされる~

活発なソリューション営業の展開
顧客ライフサイクル別ソリューション営業
法人：創業→成長→事業拡大→事業承継
個人：ライフステージ別相談
本部PB(プライベートバンキング)チーム
海外駐在員事務所活用

戦略的人員配置

行員渉外能力の向上
グループ内人材交流によるノウハウ共有

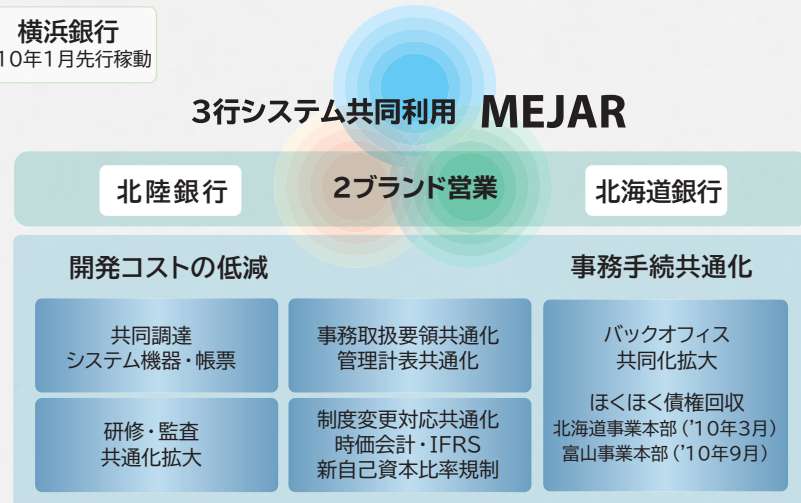
アライアンス強化

グループ会社活用(ほくほく債権回収)
他行・信金信組、コンビニ等との連携

II. 経営の効率化 3行共同利用システムの安定稼働・戦略的活用

'11年5月稼働開始

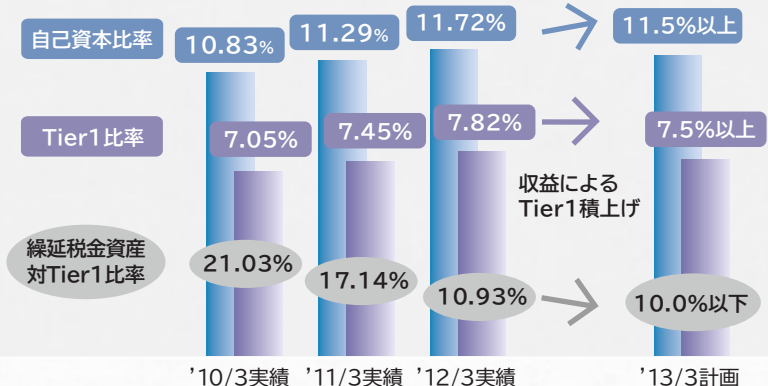
シナジー効果の加速



- 経費抑制
- 人員捻出によるフロントシフト
- 経営管理ガバナンス強化

III. 経営基盤の安定化 収益の積上げによる資本の質の向上

自己資本比率・Tier1比率(FG連結)



- 自己資本比率12%、Tier1比率8%を展望
- 自己資本の質の向上
- 普通株式の段階的増配

中期経営計画

当社グループは、2010年4月からの3年間を「持続的成長に向けた新たな挑戦の期間」と位置付け、中期経営計画「Road to 10」に取り組んでおります。

2年を経過し、預金、貸出金、連結自己資本比率は目標水準を上回って推移しております。低金利環境の長期化や他行競合から、収益環境はますます厳しさを増しておりますが、「営業力の強化」「経営の効率化」「経営基盤の安定化」を経営の3つの柱としてさらに進め、安定的な収益確保に努めてまいります。

■ 計画の概要

名称	中期経営計画 “Road to 10”
期間	3年間(2010年4月~2013年3月)
位置付け	持続的成長に向けた新たな挑戦の期間 ~預金量10兆円金融グループへの足固め~
目指すグループ像	地域から親しまれ、頼りにされる金融グループ
取り組む課題	1. 不透明な経済環境に対応できる安定的収益基盤の構築 2. 3行共同利用システム安定稼働・戦略的活用と人員・店舗の営業インフラ整備 3. 新自己資本比率規制、増配、民間優先株償還に向けた剰余金積上げ

■ 計画の基本方針

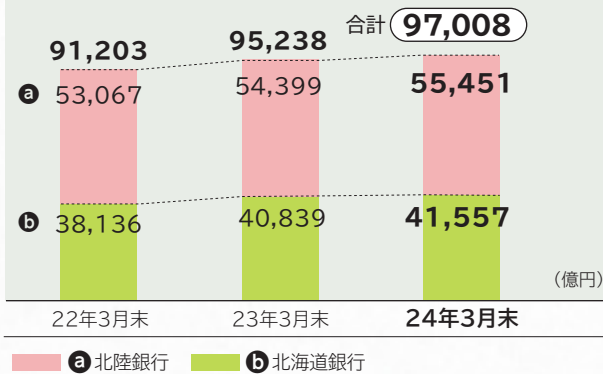
	I. 営業力の強化	II. 経営の効率化	III. 経営基盤の安定化
持続的成長に向けた新たな挑戦の期間	<ul style="list-style-type: none"> 収益基盤の拡充・強化 お客さま目線でのコンサルティング営業 有価証券運用の拡大 	<ul style="list-style-type: none"> 3行共同利用システムの安定稼働・戦略的活用 シナジー効果の更なる追求 営業人員の増強 	<ul style="list-style-type: none"> 資本の質の向上 普通株式の段階的増配

■ 2013年3月期目標とする計数(2行合算・連結)

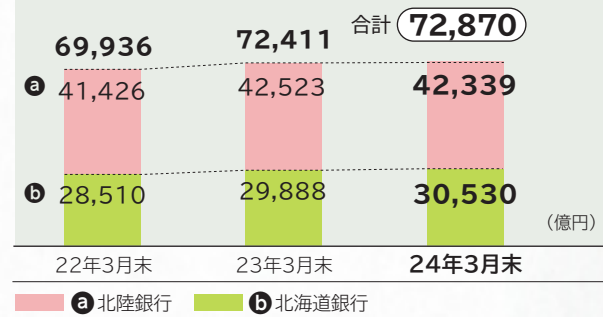
	2011年3月期(実績)	2012年3月期(実績)	2013年3月期(目標)
総預金平残	9兆2,776億円	9兆5,794億円	9兆5,500億円
貸出金平残(部直前)	7兆1,133億円	7兆2,673億円	7兆2,000億円
コア業務純益	567億円	557億円	700億円
連結当期純利益	184億円	141億円	255億円
連結自己資本比率(連結Tier1比率)	11.29%(7.45%)	11.72%(7.82%)	11.5%以上(7.5%以上)
OHR	63.47%	64.37%	58%
ROA(コア業務純益ベース)	0.56%	0.53%	0.68%
ROE(連結当期純利益ベース)	4.60%	3.26%	6%以上
不良債権比率	2.96%	3.17%	3%程度

※本計画には、将来の業績に関する記述が含まれております。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、経営環境の変化などにより、見通しと異なる可能性があることにご留意ください。

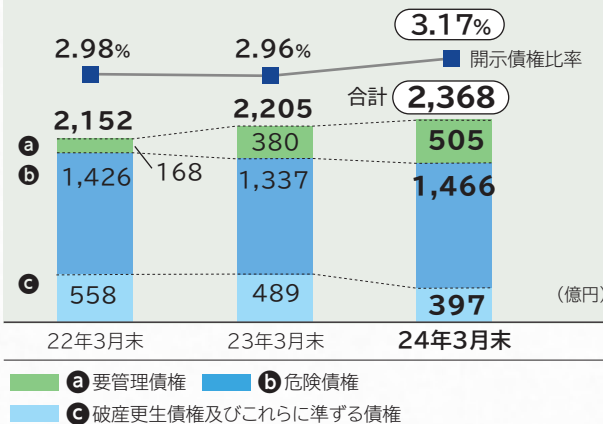
預金 (含む譲渡性預金) <2行合算>



貸出金 <2行合算>



金融再生法開示債権 <2行合算>

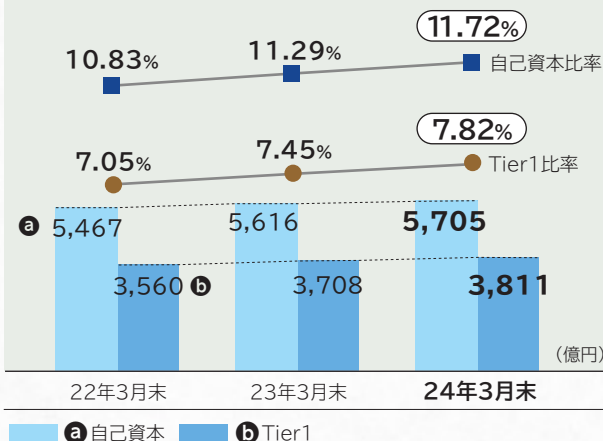


景気の低迷が続く中、金融再生法開示債権は前期末比162億円増加し、2,368億円となりました。開示債権比率は同0.21ポイント上昇し、3.17%となりました。

用語の解説

- 金融再生法開示債権…金融再生法(金融機能の再生のための緊急措置に関する法律)に基づく基準により、公表しています。
- 開示債権比率…総与信に占める金融再生法開示債権の割合を示しています。この比率が低いほど健全性が高いといえます。

自己資本比率 <FG連結>



財務の健全性を示す自己資本比率は、前期末比0.43ポイント上昇し11.72%となりました。

利益の積み上げにより内部留保が増加したことでTier1は前期末比102億円増加し3,811億円、自己資本も89億円増加し、5,705億円となりました。

用語の解説

- 自己資本比率…自己資本(資本金や利益の蓄積等)が資産に比べてどの程度充実しているかを示します。この比率が高いほど安全性・健全性が高いといえます。
- Tier1比率…リスク・アセット(貸出金等の資産)に対するTier1(自己資本の基本的項目である資本金・資本剰余金・利益剰余金等)の割合を示したもので銀行の本質的な健全性を示すものです。

業績ハイライト

—24年3月期の業績をご報告をいたします—

営業の概況<ほくほくフィナンシャルグループ連結>

	23年度		22年度
		前期比	
経常収益	2,079	△66	2,146
経常利益	388	+16	372
当期純利益	141	△42	184
自己資本比率	11.72%	+0.43%	11.29%

当社における当連結会計年度の業績につきましては、経常収益は前期比66億円減少し2,079億円、経常利益は前期比16億円増加し388億円、当期純利益は前期比42億円減少し141億円となりました。

営業の概況<北陸銀行・北海道銀行>

	2行合算		22年度
	23年度	前期比	
経常収益	1,930	△28	1,958
コア業務粗利益	1,563	+9	1,554
経費(臨時処理分を除く)	1,006	+20	986
コア業務純益	557	△10	567
与信費用	104	△41	145
有価証券等関係損益	△14	△3	△10
経常利益	405	+35	370
当期純利益	166	△29	196

コア業務粗利益は、役員取引等利益は減少したものの、資金利益および金融派生商品収益の増加により、前期比9億円増加の1,563億円となりました。平成23年5月のシステム更改に伴い、経費が前期比20億円増加したことなどから、コア業務純益は前期比10億円減少の557億円となりました。

経常利益は、与信費用が前期比41億円減少したことから、前期比35億円増加の405億円となりました。

当期純利益は、法人税率引き下げに伴う法人税等調整額の増加(影響額51億円)により、前期比29億円減少の166億円となりました。

	北陸銀行		22年度
	23年度	前期比	
経常収益	1,054	△34	1,088
コア業務粗利益	885	△0	885
経費(臨時処理分を除く)	542	+3	538
コア業務純益	343	△3	346
与信費用	44	△26	71
経常利益	274	+45	229
当期純利益	114	△5	119
自己資本比率	11.85%	+0.53%	11.32%

	北海道銀行		22年度
	23年度	前期比	
経常収益	875	+5	870
コア業務粗利益	678	+10	668
経費(臨時処理分を除く)	464	+16	447
コア業務純益	214	△6	221
与信費用	59	△14	74
経常利益	131	△10	141
当期純利益	52	△24	77
自己資本比率	10.80%	+0.21%	10.59%

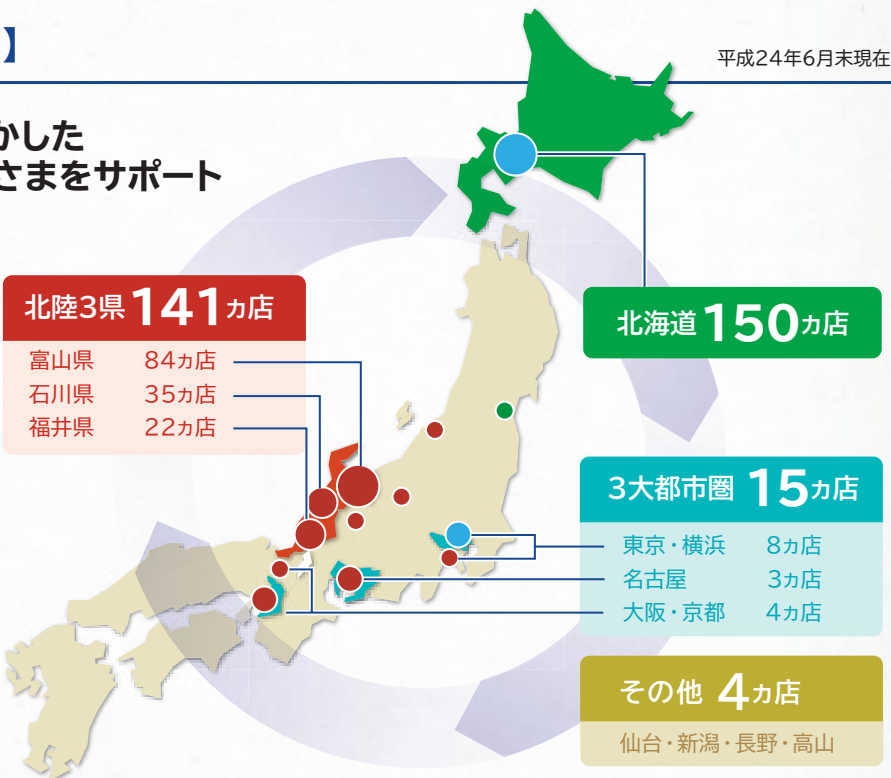
※ 業績説明に使用している計数は、原則として単位未満を切り捨てのうえ表示しております。

【 店舗ネットワーク 】

平成24年6月末現在

広域ネットワークを活かした 情報・サービスでお客さまをサポート

ほくほくフィナンシャルグループは、北陸三県および北海道を主要営業基盤とする広域金融グループとして、三大都市圏を含む情報ネットワークと総合金融サービス機能を活用し、地域のお客さまの繁栄に貢献してまいります。



● 国内店舗数

北陸銀行 177 北海道銀行 133

310

店舗

(特殊店舗を除く)

Hokuhoku Financial Group

Network

グローバルネットワークで 海外進出をバックアップ

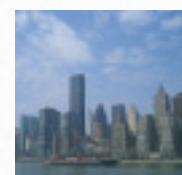
グローバル化の進展により、ますます活発化するお取引企業の皆さまの海外進出ニーズにお応えするため、当社グループでは海外ネットワークの充実にも努めてまいります。

● 海外駐在員事務所

北陸銀行 6 北海道銀行 2

8

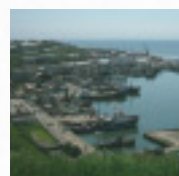
拠点



① ニューヨーク (北陸銀行)



② ロンドン (北陸銀行)



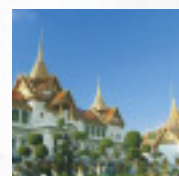
③ ユジノサハリンスク (北海道銀行)



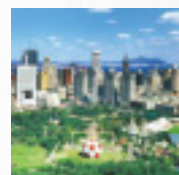
④ 瀋陽 (北海道銀行)



⑧ シンガポール (北陸銀行)



⑦ バンコク (北陸銀行)



⑤ 大連 (北陸銀行)



⑥ 上海 (北陸銀行)

【 企業概要 】

Hokuhoku Financial Group



<http://www.hokuhoku-fg.co.jp/>

設立日	平成15年9月26日
本店所在地	富山市堤町通り1丁目2番26号
事業目的	傘下子会社の経営管理、ならびにそれに付帯または関連する業務
資本金	708億9,500万円
上場取引所	東京証券取引所(第一部) 札幌証券取引所

■ ほくほくFGのあゆみ

- 2003** 5月 ● 北陸銀行と北海道銀行が経営統合を基本合意
- 9月 ● 銀行持株会社(商号:ほくぎんフィナンシャルグループ)を設立し、北陸銀行を完全子会社化
- 2004** 9月 ● 北海道銀行を完全子会社化
- (株)ほくほくフィナンシャルグループに商号変更
- 札幌証券取引所に上場
- 2009** 8月 ● 公的資金を完済
- 2011** 5月 ● 基幹システムを北陸銀行・北海道銀行・横浜銀行の3行共同オンラインシステム(MEJAR)へ移行



<http://www.hokugin.co.jp/>

設立	昭和18年7月31日(創業明治10年)
本店所在地	富山市堤町通り1丁目2番26号
資本金	1,404億952万円
頭取	高木 繁雄

北陸銀行は、加賀前田家の出資(7割)を受け、明治10年8月26日に設立された金沢第十二国立銀行を起点としており、今年で創業から135年を迎えました。北陸・北海道を主要営業基盤とし、三大都市圏にも店舗展開する他に類を見ない広域地銀として発展してきました。

積極進取の気風で先進業務にも積極的に取り組み、国際業務、証券やEB業務など総合金融業務で地銀トップレベルにあります。地域密着型金融の本質である「地域とともに生きる」という高い志のもと、皆さまとともに歩み、地域社会とともに成長・発展することを目指してまいります。

■ グループ企業

株式会社ほくほくフィナンシャルグループ

株式会社北陸銀行	
北銀ビジネスサービス株式会社	文書管理・事務集中処理業務等
Hokuriku International Cayman Limited	金融業務
株式会社北海道銀行	
道銀ビジネスサービス株式会社	文書管理・事務集中処理業務等
道銀カード株式会社	クレジットカード業務、信用保証業務
北銀リース株式会社	リース業務
株式会社北陸カード	クレジットカード業務
北陸保証サービス株式会社	信用保証業務
北銀ソフトウェア株式会社	ソフトウェア業務
ほくほく債権回収株式会社	サービサー業務
ほくほくキャピタル株式会社	ベンチャーキャピタル業務



<http://www.hokkaidobank.co.jp/>

設立	昭和26年3月5日
本店所在地	札幌市中央区大通西4丁目1番地
資本金	935億2,401万円
頭取	堰八 義博

北海道銀行は、戦後復興期の昭和26年3月5日、北海道における新興産業の勃興と人口の急激な増加に伴う旺盛な資金需要に応えるべく、道内中小企業者の強い要望により設立されました。

こうした設立の経緯から、北海道のお客さまに円滑な資金供給と充実した金融サービスの提供を行うことを通じ、地域経済の成長に貢献することが、「北海道に根差したどさんこバンク」としての北海道銀行の使命であると考えております。

今後も、創業時の精神を忘れず、北海道の皆さまとともに歩んでまいります。

地域と
あなたのために
もつと。



株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group, Inc.

株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ
〒930-8637 富山市堤町通り 1丁目2番26号
Tel:076-423-7331
<http://www.hokuhoku-fg.co.jp/>

株式会社 北陸銀行 総合企画部広報グループ
〒930-8637 富山市堤町通り 1丁目2番26号
Tel:076-423-7111
<http://www.hokugin.co.jp/>

株式会社 北海道銀行 経営企画部広報CSR室
〒060-8676 札幌市中央区大通西4丁目1番地
Tel:011-233-1005
<http://www.hokkaidobank.co.jp/>